



## 「第 15 回 JICA 理事長賞」受賞 ベトナムカントー大学の表彰式を開催

2019 年 12 月 10 日  
JICA ベトナム事務所

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所は、2019 年 12 月 10 日、カントー市において、ベトナムカントー大学(以下、カントー大学)に対する JICA 理事長賞の表彰式を執り行いました。JICA では、毎年、国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会発展に多大な貢献をされた個人・団体に対し、その功績を讃え、表彰しており、2019 年度は 58 の個人・団体が受賞しました。ベトナムではカントー大学を含む3つの団体と個人一名が受賞対象となりました。

カントー大学は 1966 年の設立以降、約 50 年にわたり、ベトナムの農林水産業にとって重要な地域であるメコンデルタ地域の社会経済の発展に貢献する農業教育研究・人材育成に尽力されています。特に、同大学は、気候変動による、塩水遡上・塩害化・病害虫・生産性低下・水質汚染・自然環境悪化等様々な課題に対する教育・研究を行い、同地域の持続可能な農水産業の発展及び環境対策に多大な貢献をされてきました。

JICA は、1969 年から無償・技術協力ほかのスキームを組み合わせ、同大学の農業・水産・環境分野での高度人材育成を支援しています。実施中の円借款・技術協力「カントー大学強化プロジェクト」では、本邦連携大学とともに気候変動に適応しながら農水産業を発展させるための様々な共同研究が進められています。今後は、メコンデルタ各省との連携を通じて、気候変動対策に係る研究成果を活かした産官学連携・情報のハブとしての貢献も期待されています。また、同大学にはメコンデルタで採取されたハゼ新種発見に係る当時の皇太子殿下(現上皇閣下)の学術論文が寄贈されており、日越両国友好関係のシンボルともなっています。

表彰式では、JICA ベトナム事務所小中所長がこれまでの功績に対し「日本とカントー大学の協力は 50 周年の節目を迎え、これまで JICA プロジェクトに関わって来られた方々のご尽力と熱意に対し、深く感謝する」と述べました。また、カントー大学ハー・タントアン学長は JICA への謝意とともに「今後も地域の社会経済発展に向けて最大限の努力を惜しまない」と述べました。

ベトナムは、世界でも気候変動に対して最も脆弱な5か国の一つです(世界銀行防災グローバルファシリテイ)。中でも気候変動の影響が深刻であるといわれるメコンデルタ地域を対象に、ベトナム政府は 2017 年、「メコンデルタ地域の気候変動影響下での持続可能開発に係る政府決議 120」を発出し、国としての取り組みを強化しています。

JICA は引き続きさまざまなパートナーと協力してベトナムの社会経済の発展に協力していきます。

### \* 理事長表彰

[https://www.jica.go.jp/topics/2019/20191023\\_01.html](https://www.jica.go.jp/topics/2019/20191023_01.html)

### \* カントー大学強化プロジェクト

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/039/>



\* 世界銀行防災グローバルファシリティ(GFDRR)

<https://www.gfdr.org/sites/gfdr/files/region/VN.pdf>

ドナーの拠出に基づき世界銀行が管理する信託基金の一つであり、兵庫行動枠組の推進のため、災害の危険性の高い低・中所得国において、各国の開発戦略等に防災を中心的に位置づける取組みを支援することを目的としており、我が国からは、GFDRR に対し、3年間で600万ドルを拠出しており、協議グループのメンバーとして内閣府、外務省、財務省の3府省が参加。

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11 Fl., CornerStone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137)担当:高木